

教科 科目名	外国語科(英語)	学年・科目群	1学年・必修	外国語を理解するとともに、実際のコミュニケーションを使用する場面(会話、メール等)を想定した活動を通して【協働する力】を育成。また、日々の学習や言語活動、検定取得に向けた自学自習等を通して【継続して挑戦する力】を身につける。
	論理・表現Ⅰ	単位数(年間授業時数)	2単位(70時間)	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付いた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成する。
三つの柱	(1)	知識及び技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
教科 教科書 教材	【教科書】BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ(数研出版) 【副教材等】プレッピングリッシュ[4訂版](旺文社)、四訂版 Listening Laboratory Basic α(数研出版)、四訂版 Listening Laboratory Basic β(数研出版)、[改訂第3版]速読英単語入門編(2会出版)、チャート式®シリーズBIG DIPPERビッグ・ディッパー高校英語(数研出版)		
ポイント	(1) 原則として単元テストの点数を基にした習熟度別授業を行います。 (2) 家庭での予習および復習、課題への取り組みが重要となる科目です。継続的な学習をしていきましょう。 (3) 実用英語技能検定など、多くの検定があります。積極的な受検をしましょう。 (4) タブレット端末の使用は、各クラスの教員の指示に従ってください。また、必要に応じてアプリケーションの利用もあります。		
学習 評価	評価の観点		
	a	知識・技能	目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開及び情報や考えなどを効果的に伝える表現について理解し、実際のコミュニケーション(話すこと・読むこと・書くこと)において活用することができる。
	b	思考・判断・表現	① 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを適切に表現することができる。 ② 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うことができる。
	c	主体的に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4・5	論理的な英語表現の基礎	Lesson 1【日本語だと省略される主語】 Lesson 2【動詞の選定】 Lesson 3【可算・不可算・特定・不特定】	日本語と英語の違いに注意して論理的に英語を書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	9
	5	肯定文・否定文・疑問文	Lesson4【肯定文・否定文・疑問文】	「～である[ない]」、「～ですか[しますか]」などを英語で表現できる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	3
	5・6	時制	Lesson 5【進行形】 Lesson 6【未来表現】 Lesson 7【完了形】	動作や状態がいつのものなのかに着目して英語を書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	9
	6・7・8	助動詞	Lesson 8【助動詞（能力、許可、推量）】 Lesson 9【助動詞（必要、義務、推量）】	助動詞can, may, must, shouldなどの使い方、ニュアンスを理解し、書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	8
	8・9	文型 接続詞	Lesson 10【2,3,4,5文型】 Lesson 21【接続詞】	動詞の5通りの使い方を覚え、品詞や目的語や補語などの概念を身につけて書いたり話したりできる。また、接続詞の作る面が名詞節か副詞節かに着目しながら書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	8
後期	10	受動態 分詞	Lesson 11【受動態】 Lesson 15【現在分詞、過去分詞】	現在分詞と過去分詞の意味と使い方を身につけて、受動態を含む様々な文を書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	7
	10・11	不定詞、動名詞	Lesson 12【to不定詞の名詞、形容詞的用法】 Lesson 13【to不定詞の副詞的用法、原形不定詞】 Lesson 14【動名詞とto不定詞】	不定詞の名詞・形容詞・副詞用法を理解し、書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	8
	11・12	比較	Lesson 16【原級、比較級】 Lesson 17【最上級、倍数表現】	比べる文を原級、比較級、最上級を用いて書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	6
	12・1	関係詞	Lesson 18【関係代名詞 “which”、“who”】 Lesson 19【関係代名詞 “what”、関係副詞】	関係詞を使って名詞や文全体を後ろから修飾する書き方、話し方を身につけることができる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	8
	2・3	仮定法	Lesson 20【仮定法】	現実と異なる仮定の内容を書いたり話したりできる。	協働する力・創造する力	知 テスト 思 テスト 態 課題の提出状況と質	4
							70
教科模範所	単元	関係詞	生物の専門用語を関係詞を用いて説明する。				
	関連	生物基礎					